

## 医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 収容定員変更の内容

平成29年度から長崎大学医学部医学科の入学定員を118人から120人とし、収容定員を733名から745名とする。

### 2. 収容定員変更の必要性

長崎県の医師数は、人口10万人当たり299.7人(厚生労働省大臣官房統計情報部「平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査」)で、全国平均242.9人を上回っているが、地域偏在が顕著であり、離島・へき地においては、佐世保県北地区227.7人、県南地区174.6人、五島地区207.9人、上五島地区143.5人、壱岐地区155.6人、対馬地区168.8人と深刻な医師不足となっている。【長崎県の医師の状況(資料1)参照】

以上の状況を、喫緊の課題として捉え、平成20年度入学者から地域枠をAO入試に設け、平成21年度には「緊急医師確保対策(H19.5)」により一般入試枠の定員を5名増、平成22年度から「経済財政改革の基本方針2009(H21.6閣議決定)」に沿って15名定員増とし、AO入試で実施していた地域枠を推薦入試A(地域医療枠)に改編のうえ定員増の15名を推薦入試A(地域医療枠)の定員とした。また、平成21年度に定員増となった5名を、新設した推薦入試B(地域医療特別枠)の定員とし、長崎県医学修学資金の貸与を条件とした。平成23年度には、佐賀県枠及び宮崎県枠を創設し、各2名の定員を設け、「新成長戦略(H22.6閣議決定)」により1名の定員増とした。平成24年度には平成23年度「新成長戦略(H22.6閣議決定)」により増員とした1名を、推薦入試B(地域医療特別枠)の定員とした。平成28年度には「地域の医師確保等の観点」による定員増2名を推薦入試B(地域医療特別枠)の定員とした。現在は推薦入試A(地域医療枠)15名、推薦入試B(地域医療特別枠)8名の定員としている。

しかしながら、多くの離島を抱える本県にあっては、かねてよりの医師不足に重ね専門医指向等により都市部病院へ医師が集中し、地域間の医師の偏在が顕著になっており、特に離島及び本土の県北部における医師不足は厳しい状況が続いていることから、長崎県と協議した結果、本学では平成29年度の医学部医学科入学定員(推薦入試B(地域医療特別枠))を2名増員し、医師偏在の非常事態に直面する離島・へき地への地域医療人育成について今後も継続して取り組む。

### 3. 収容定員変更に伴う教育体制等

本学医学部は、長崎県内の地域医療を担う医師を養成するために、これまでも次のとおりの医学教育プログラムを実践してきた。

- 1) 地域医療人基盤育成のために、1年次から主に地域枠学生を対象に開講している「地域医療ゼミ・医学ゼミ」では、県北部地域の平戸市、県島嶼部の五島市へ2泊3日の地

域医療集中セミナーを開催し、ワークショップ、講義、施設見学等を通して地域包括医療の実際を学ぶ取組を実施している。【地域医療セミナー実施要領（資料2）参照】

以上の地域医療ゼミ・医学ゼミ等の足がかりとして、地域枠1～3年生については、春に班編制を行い、班ごとに長崎県内の地域医療に関する調査・研究活動を行って、その成果を10月にその年の地域医療に関連した活動報告会で発表し、長崎県の地域医療について理解を深めている。本年度からは本活動報告会に長崎県内の全臨床研修病院の医師に参加してもらい、県内地域医療の理解と地域医療に従事するモチベーションを高める取組を開始する。

また、地域枠学生に限らず、広く地域医療に興味を持つ学生等を対象に、3カ月に1回程度の頻度で県内外の地域医療に従事している医師を講師として招き、地域医療の実践について学ぶ地域医療研究会を開催している。

- 2) 平成16年度文部科学省企画「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に本学の「地域と連携した実践型医学教育プログラム」が採択され、①患者との良好なコミュニケーションを構築し、病気を診るだけではなく患者の心と置かれている環境を洞察する全人的医療を実践することができ、②医療チームや家族と力を合わせ、患者の社会への復帰を真摯に目指す（包括的保険）医師、「現在版“赤ひげ医師”」を育成することを目的に、医学部5年生全学生を対象として、長崎県の特徴である離島をフィールドとした1週間の離島医療実習を必修化している。本プログラムは、地域（離島）医療に貢献できる医療人の育成という地域の切実な要請に対応する本学の特色ある取組の1つである。学生の反応も良好で、本実習の延長線上にある6年次高次臨床実習（選択制）では、平成16年から平成28年度までの11年間で、のべ125名が離島実習を選択している。
- 3) 平成20年度には文部科学省企画「質の高い大学教育推進プログラム」に採択された「地域医療人育成プラットフォームの構築～長崎県離島における医・歯・薬共修を柱とした地域医療一貫教育プログラム「長崎モデル」の開発～」は、現在でも本学薬学部6年生、歯学部5年生又は6年生、医学部保健学科4年生と医学科学生との共修実習として積極的に実施されており、病院及びデイケアサービス等の地域医療の現場で不可欠なチーム医療の教育に取り組んでいる。なお、他大学医学部学生からの実習希望も可能な限り受け付けており、福岡大学医学部とは教育協定を締結のうえ、長崎県離島の保健・医療・福祉施設で定期的な地域医療・保健実習を行っている。
- 4) 平成16年5月、長崎県及び関連する下五島地区1市5町（現五島市）による寄附講座として、本学大学院医歯薬学総合研究科に「離島・へき地医療学講座」が開講し、開講と同時に離島での活動拠点として長崎県五島中央病院内に「離島医療研究所」を設置した。本研究所が長崎県と本学との離島医療連携の拠点となっており、大学教員3名が常駐して本学医学部が推進する離島医療実習の全面的な教育支援と指導を担当している。

5) 卒後臨床研修プログラムでは、長崎県内15か所の協力病院で1年間の研修を受けることが可能であり、研修医全体の8割以上が当該研修を受けている。また、地域医療研修プログラムを必修科目として1か月以上3か月未満の短期研修を実施しており、県内の離島・へき地を中心として48施設の地域医療研修施設を研修先としている。なお、特別コースとして、地域枠に特化した家庭医・総合医コースも用意している。

また、長崎県の医学修学資金貸与制度では、返還免除の必要勤務期間（9年）内に長崎県本土の基幹病院における臨床研修、再研修及び定着勤務の期間を合計4.5年間設け、医師の先端医療研修の機会を確保している。

【長崎県医学修学資金貸与制度（資料3）参照】

6) 「地域医療等の社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム教育支援プログラム（平成17年度医療人GP採択）」により、本学病院に設置された「へき地病院再生支援・教育機構」が中心となって、県北部の医療過疎地域に大学から指導医を配置して、地域医療の専門家を養成する後期研修プログラムを担当している。また、学外からも多くの初期研修医が当該機構を通じて県北部の医療機関で初期研修を実施している。

7) 平成24年度に大学院医歯薬学総合研究科社会医療科学講座に地域医療学分野を新設し、教授1、助教2を配置して長崎県本土における地域医療教育と地域枠学生のマネジメントを強化した。この地域医療学分野と従来から地域医療教育を展開していた離島・へき地医療学講座によって、長崎県全域で入学初年次から6年次まで一貫した実践的な地域包括医療・ケア教育を提供する体制を整えた。

8) 平成25年度未来医療研究人材養成拠点形成事業の採択をうけ、本学に設置された「地域包括ケア教育センター」（教授1名、助教6名）は、福祉系大学との連携のもと、教育プログラム・コースの開発や地域包括ケアネットワークを教育資源として統合することを達成目標として、本学の学生に地域教育フィールドでの実践的教育を提供している。

9) 平成28年度に医学部委員会に進路指導委員会を新設し、地域枠学生全員に対して面接と進路指導を行うほか、地域枠学生に対するキャリア形成支援を実施している。

以上のような本学医学部の教育実績を踏まえて、この度の地域の医師確保対策を実施するに当たっては、基本的には一般選抜の学生と同じカリキュラム内容とするが、地域枠学生に対しては特別プログラムを開講する等して、広く地域医療に関する学びの機会を提供していく方針である。従前から本学医学部のカリキュラムでは、地域医療、離島医療及びへき地医療の特色であるプライマリ・ケア主体の医療にも着目し、「医と社会」、「医学ゼミ」、「リサーチセミナー」、「臨床実習」、「高次臨床実習」等のカリキュラムの中に地域医療等に関する内容が網羅されている。さらに、平成28年度入学者から「地域医療学」を開講予定であるが、医師の偏在が続く県北部地域への臨床実習派遣及び地域枠の入学者の卒業時の出口管理を含めて、地域医療に係るカリキュラムとして各学年においては次のような対応を行

う。

【現行の医学部カリキュラムの概要と特徴的な科目のシラバス（資料4）参照】

#### 1) 1年次への対応

医学入門として開講している「医と社会」は、本学医学部保健学科と共修の早期体験科目であり、地域包括ケア教育センター及び先端医育センターの講師陣を中心として、チーム医療や全人的医療等をテーマとした講義の後に大学病院、リハビリテーション施設等での実習を行うことで、病める人の立場に立った医療を実感することができる。また、患者や利用者へ直接接することで地域包括ケアシステムを理解し、診療器具を実際に操作する中で診察の心得を修得する。

少人数教育として行う選択必修科目「医学ゼミ」に、地域医療（県北地域）、総合医療、離島医療をテーマとしたゼミを開講し、地域卒の学生については必修科目としている。

#### 2) 2～3年次への対応

標準履修年次の全学生を対象に「医と社会」において、引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深める。また、2年次は高齢者診療施設（老健施設）実習の時間を作り、体験を通して患者とのコミュニケーションの取り方、高齢者との接し方を学び、さらに3年次には地域診療所で実習を行い、診察、介護等の体験実習を通して内在する問題を抽出し自己問題解決能力を身に付け能動学習法を実践する。

#### 3) 4～6年次への対応

4年次から開始する臨床実習については、平成27年度から臨床実習を64週に増やし、地域包括ケア教育センター主導の実習を組み込んだ。また従前から、学生全員が履修する地域病院実習、離島医療・保健実習、地域包括ケア実習にそれぞれ1週間の期間を予定しており、詳細については以下のとおりである。また、医師不足が深刻で初期臨床研修のマッチ率が非常に低い県北部での地域病院実習について、基幹型臨床研修病院（4病院）における実習を平成28年1月から開始した。

なお、平成28年度入学者から4年次生を対象に、新規科目として「地域医療学」を開講することにより、臨床実習開始前に全学生が地域医療への理解を深め、実践学習のより効果的な修得を目指す予定である。

##### a. 地域病院実習

地域病院実習は、長崎県全域の地域中核病院において診療参加型の実習を行い、地域中核病院の機能と役割について学ぶ。

##### b. 離島医療・保健実習

離島医療・保健実習は、平成27年度から壱岐市を加え、対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町、小値賀町のいずれかに1週間滞在し、保健・医療・福祉・介護施設において包括的な離島医療の実際を学ぶ。壱岐市、五島市、新上五島町では医学部医学科、



医学部保健学科、歯学部、薬学部の共修を行い、多職種の職能理解に基づいたチーム医療教育を推進する。

c. 地域包括ケア実習

地域包括ケア実習は、長崎市内の地域包括支援センターと訪問看護ステーションにおいて、主に在宅における地域包括ケアについて実践的な実習を行う。

4年生から始まる臨床実習が終了した後、5～6年生の希望者を対象として、長崎県離島と本土の地域中核病院において4週間にわたって学ぶ長期間の診療参加型実習を行っている。また、地域枠入学者については、地域医療学分野教員による面談を受け、卒業後のキャリアパスについての指導を受けている。

なお、6年生の学習室として各自に机を与え、10名～15名一組の部屋を9部屋用意し、国家試験に向けて集中できる環境を提供している。さらには国家試験対策として、保護者で構成する教育後援会の予算で模擬試験受験料を負担し、機会の均等化を図っており、先端医育センターが定期的に学習部屋を訪問し、激励・指導するほか、国家試験対策専門部会長と連携のうえC B T及び模擬試験の成績下位学生（スロースタータ）に対しては、面談の機会を設けて個別指導している。

# 資料目次

資料 1 長崎県の医師の状況

資料 2 地域医療セミナー実施要領

資料 3 長崎県医学修学資金貸与制度

資料 4 現行の医学部カリキュラムの概要と

特徴的な科目のシラバス



## 資料 1 長崎県の医師の状況



# 長崎県の医師の状況

(医師・歯科医師・薬剤師調査: H26.12)



長崎県二次医療圏別医師数(人口10万対)

【無職等を除く】



## 資料2 地域医療セミナー実施要領





# 平成28年度第4回長崎地域医療セミナーinGOTO実施要領

8月19日(金) セミナー1日目	
7:00	7:20 長崎港 大波止ターミナル集合
8:00	8:05 長崎港出発(九州商船フェリー)
9:00	~
10:00	
11:00	11:15 福江港着
	11:30 五島市表敬訪問(五島市役所大会議室) 開会挨拶:長崎大学離島医療研究所 所長 前田 隆浩 学生挨拶:学生実行委員会 委員長 小川 伸一郎
12:00	12:00 休憩・昼食
	12:30
13:00	
14:00	「講義① 各医療機関および施設について」 「実習① 島内医療機関実習」 1. 五島市長寿介護課 - 福江産婦人科 2. 五島中央病院 3. 聖マリア病院 - マリアの園 4. 奈留医療センター 5. 久賀診療所 6. 伊福貴診療所
15:00	
16:00	
17:00	
	17:30 チェックイン等
	18:00
18:00	18:00
19:00	ウェルカムレセプション さんさん富江キャンプ村
	20:00
20:00	20:00
21:00	入浴や荷物整理など 談話室(フェニックス)開放
	22:00

## 8月20日(土) セミナー2日目

7:00	7:00	
		朝食・準備など
8:00	8:15	
		移動
9:00		「ワークショップ 多職種連携の必要性を知ろう」 学生実行委員会
	9:15	
		「講義② (TBA)」 徳洲会グループ 家庭医療部 佐野 潔 先生
10:00	10:15	
		「ワークショップ」
11:00	11:00	
	11:30	「講義③ 五島市の母子保健の現状について」 五島市健康政策課 二里 温子 先生
		「ワークショップ」
12:00	12:00	
		昼食・お昼休み
13:00	13:00	
		「講義④・実習② 救急現場での医療 BLSとAED G2015より」 長崎大学 山下 和範 先生
	14:00	
14:00	14:00	
	14:30	「ワークショップ」
	14:30	
		「講義④ 五島市における地域包括支援センターの役割」 五島市長寿介護課 山田 真由 先生
15:00	15:30	
	15:30	
	16:00	「ワークショップ」
16:00	16:00	
	16:30	「講義⑤ (TBA)」 井上内科小児科医院 井上 郊子 先生
		「ワークショップ」
17:00	16:45	
		移動・荷物整理・入浴など
18:00	18:30	
	18:30	
		懇親会 富江たっしやかランド
20:00		
20:00		
	20:30	
21:00		移動など 談話室(フェニックス)開放
	22:00	

## 8月21日(日) セミナー3日目

7:00	7:00	朝食・準備など
8:00	8:15	
		移動
9:00	9:00	「ワークショップ」
	9:30	「ワークショップ発表(前半)」
10:00	10:30	
	10:45	休憩
11:00	10:45	「ワークショップ発表(後半)」
	12:00	
12:00	12:00	総括・アンケート記入
	12:15	
	12:30	
13:00	12:30	昼食 地域体験実習
14:00		
15:00		
16:00	16:00	福江港着
	16:30	福江港発 九州商船(ジェットfoil) 福江港発 九州商船(フェリー)
	16:50	
17:00		

第 11 回 Summer Camp 2016 in Hirado スケジュール

テーマ: 地域医療 Past and Future !

～2025 年問題は怖くない! 地域は最先端～

8 月 26 日(金)

10:00	佐世保駅発【移動:平戸市バス】
11:30	オリエンテーション(一楽食堂 2F) 平戸市長挨拶 在宅医療ショートレクチャー 昼食
13:30	地域医療実習 ・柿添病院 ・青洲会病院 ・押漕医院 ・平戸市立生月病院 ・平戸市民病院
17:00	まとめ(レジデントハウス 2F 研修室)
	受付(サン・ケア平戸 研修室) 休憩(軽食・集金)
18:00	開会の挨拶:調 漸(長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 機構長) 地域医療講演会 I (サン・ケア平戸 研修室) 講師:高柳宏史(熊本大学医学部附属病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座 特任助教) 演題:「災害における総合医の役割 ～2 つの震災の経験をもとに～」 コメンテーター:齋藤寛(長崎大学 前学長)
19:00	座長:中桶了太(長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
19:30	夕食兼懇親会
21:30	(レジデントハウス 2F 研修室)
21:45	ホテル蘭風着【移動:蘭風バス】

8 月 27 日(土)

7:00	朝食
8:20	ホテル蘭風発【移動:蘭風バス】
	受付(サン・ケア平戸 研修室)
9:00	Day2 opening remarks :中桶了太(長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
9:15	へき地研修卒業生によるシンポジウム I テーマ:地域医療の未来～私のキャリア～ 講師:今村祐子(社会医療法人 健友会 上戸町病院 医師) 演題:「小病院総合診療医～病院家庭医を目指して～」 講師:竹下隼人(長崎県 上五島病院 後期研修医) 演題:「私が目指したい総合外科医」 講師:石川大平(飯塚病院 後期研修医) 演題:「地域医療と長崎と私」
10:15	座長:永田康浩(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科地域包括ケア教育センター センター長)
	休憩

10:30	ワールドカフェ テーマ:地域医療の未来～2025年問題はこわくない!～
12:00	タスク:江口幸士郎(医療法人みらい 今立内科クリニック 医師)
	昼食
13:00	シンポジウムⅡ テーマ:海外の地域医療教育・研修 講師:齋藤 学(ゲネプロ 代表) 演題:「オーストラリアのへき地医療専門研修について」 講師:高村昭輝(金沢医科大学医学部 医学教育学講座 講師) 演題:「地域で君たちは何を学ぶのか!」 講師:中桶了太(長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 准教授) 演題:「カナダの地域医療教育～学ぶことは地域にある!～」 座長:八坂貴宏(長崎県上五島病院 院長)
14:15	小野隆司(杵築市立山香病院 病院事業管理者兼院長)
	休憩
14:30	ワークショップ テーマ:10年後の地域医療はどんな施設が理想? タスク:江口幸士郎(医療法人みらい 今立内科クリニック 医師) 山口将(長崎みなとメディカルセンター市民病院 医師) 鳥巢裕一(長崎医療センター 専攻医)
16:00	中桶了太(長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
	休憩
16:30	地域医療講演会Ⅱ(サン・ケア平戸 研修室) 講師:北澤彰浩(JA長野 厚生連 佐久総合病院 診療部長 地域ケア科医長・内科医長・国際保健医療科医長) 演題:「地域医療の過去・現在から未来を考える 2025年を安心して迎えるために～佐久総合病院の活動より～」
18:00	座長:調 漸(長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 機構長)
	記念撮影
18:30	懇親会 BBQ
20:30	(病院駐車場)
21:00	ホテル蘭風着【移動:蘭風バス】

8月28日(日)

5:30	ホテル蘭風発【移動:YOKAROバス】
6:00	漁師体験(綾香水産)
8:30	朝食
9:00	ホテル蘭風へ移動【移動:YOKAROバス】 発表準備等
11:30	発表(ホテル蘭風 2Fシーバース室)
13:00	閉会の挨拶:押淵徹(国民健康保健 平戸市民病院 院長)
13:30	各自の一言感想
15:30	佐世保駅着【移動:YOKAROバス】



### 資料3 長崎県医学修学資金貸与制度





## 長崎県医学修学資金貸与制度

長崎県では、大学医学部を卒業後に離島・へき地の医療に進んで従事しようとする方に修学資金を貸与しています。

### ◎制度の概要

- (1) **対象者** 医学部入学生及び在学生
- (2) **募集時期・試験** 長崎大学推薦入試Bについては、大学へ出願をする前(11月)に県の面接を実施します(その他の医学生は7月頃(入学後)、面接等を長崎市内で実施)。

### (3) 貸与金額

医学修学資金で貸与されるものは、①入学料、②授業料、③専門課程での学習図書購入費(3年生から6年生まで)、④生活費(月額7万円以内)で、平成27年度入学者への貸与金額(例)については次のとおりです。

【貸与額】平成27年度入学者:6年間の貸与総額(予定) 9,336,800 円

単位:円	入学料	授業料	図書費	生活費	年間貸与額
1年生次	282,000	535,800	—	840,000	1,657,800
2年生次	—	535,800	—	840,000	1,375,800
3~6年生次	—	535,800	200,000	840,000	1,575,800

- (4) **貸与利率** 年 14.5 %
- (5) **返還免除について**  
卒業後、「履行すべき義務」を終えた場合に元金及び利息の返還を免除します。

### (6) 履行すべき義務

貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間(うち、離島・へき地に2分の1以上の期間)、知事が指定する医療機関等(注1)への勤務が必要です。【下図:勤務例参照】

また、専門課程(概ね3年生以降)からの貸与者については、貸与を受けた期間の1倍に相当する期間(2年間の臨床研修期間は除き、離島・へき地勤務期間は別途知事が定める)、知事が指定する医療機関等への勤務が必要です。

※(注1)県、長崎県病院企業団(長崎県及び市町で構成する一部事務組合)または離島の市町立医療機関

#### 勤務例 1年生から6年生まで貸与を受けた場合

(臨床研修期間を含めて貸与年数の1.5倍が全体の義務年数、うち1/2が要離島勤務)

勤務年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9
勤務形態	臨床研修		定着医	再研修	定着医				
勤務地	(A)		離島	(A)	離島			(A)	

※(A)は知事が指定する医療機関等(研修期間は長崎医療センター等)

離島勤務4年6月  
合計9年

### (7) 貸与の取消について

次に該当する場合は貸与を取り消し、直ちに元金及び利息を返還することとなります。

- ・ 同一学年で2回留年した場合
- ・ 卒業までの在学合計年数が修業年限の2倍を超えた場合
- ・ 医師国家試験において3回不合格となった場合

### (8) 在学中の離島地域等での研修

離島医療や地域医療への意欲向上や認識を深めるため、次のような離島地域等での研修を行います。

【夏期研修(サマーワークショップ)】毎年8月、離島地区で宿泊研修を実施します。

【離島等病院見学】夏休み期間中に、長崎県病院企業団等の病院を見学(3年生から)。

【長崎県地域医療研究会】長崎県病院企業団の地域医療研究会等へ参加します。

【冬季研修(ウィンターミーティング)】先輩医師の講演や意見交換を行います。

### (9) 卒業後の身分等

身分：長崎県病院企業団等の地方公務員(臨床研修時は非常勤職員)

研修：2年間の初期臨床研修期間のほかに、国立病院機構長崎医療センター等で最先端医療を学ぶための研修期間が設けられています。

## 長崎大学地域医療特別枠(推薦入試B)について

平成22年度から長崎大学に県の地域医療を担う人材を育成するための地域医療特別入学枠(推薦入試B)が設けられています。

入学者には、「長崎県医学修学資金」の貸与を行います。

### 【主な出願要件(平成28年度入試)】

高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの

1. 長崎県内の小学校、中学校及び高等学校のいずれかを卒業した者
2. 地域医療を志し、学習成績概評がA又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者
3. 長崎県の推薦がある者
4. 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、医学科の所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎県医学修学資金貸与制度に基づき長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者
5. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者
6. 合格した場合は、入学することを確約できる者

※ 選抜方法の詳細については、長崎大学のホームページをご覧ください。

○ 佐賀大学(1名)、川崎医科大学(5名)にも長崎県の地域枠が設定されています。

○ なお、一般入試で入学された場合でも、入学後に「長崎県医学修学資金」の申請を行うことができます。

お問い合わせ先

長崎県福祉保健部医療人材対策室

〒 850-8570 長崎市江戸町2-13

電 話 095-824-1111(代表)、095-895-2421(直通)

F A X 095-895-2573

E-mail s04045@pref.nagasaki.lg.jp

## 資料4 現行の医学部カリキュラムの概要と

### 特徴的な科目のシラバス



## 教育目標

### 医学科の特色あるカリキュラム

#### 【医学科カリキュラムの重点項目】

- ①医学領域における高い倫理観を身につけるため、科目（医と社会）を1年次より4年次まで開講する。
- ②医学領域における国際的な人材を育成するため、外国人教員による医学英語を1年次より4年次まで開講する。
- ③医学領域における創造的能力・理論的思考力を修得するために3年次のリサーチセミナーにおいて基礎配属を行う。

### 多様なカリキュラム

#### 【研究医枠及び研究医コース】

基礎医学の発展に携わる研究者を養成する。プレリサーチセミナー、アドバンストリサーチセミナーが必修であり、卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

#### 【熱帯医学研究医枠】

熱帯医学研究医枠では、熱帯医学分野で「基礎」研究医として活躍する人材を育成する。卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

#### 【国際保健医療枠】

国際保健医療枠では、国際保健医療、特に放射線健康科学分野で活躍する人材を育成する。卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

#### 【地域枠】

地域医療ゼミにより地域医療に関する理解を深め、将来長崎県の地域医療に貢献する臨床医を育成する。

### 1年次

医学の基礎と医学における倫理の重要性を学ぶ。

医と社会I

#### 【正常構造と機能】

- 人体構造系II
  - 神経・感覚器系
  - 動物性機能系
  - 内臓機能・体液系II
  - 分子遺伝系
- 【疾患総論】
- 感染症
  - 免疫系
  - 腫瘍系
  - 乗換因子系

#### 【学部モジュール】

- 医科生物学入門
- 医学史・原簿医学と長崎
- Communication Skill in English
- 医学統計学

### 2年次

医学基礎と共に疾患について学ぶ。

医と社会II

#### 【疾患総論】

- 病理総論系
  - 基礎医学PBL
  - 薬理系
- 【疾患各論】
- 血液・リンパ系
  - 循環器系
  - 呼吸器系
  - 感染症系
  - 腎泌尿器系
  - 内分泌・代謝・栄養系
  - 消化器系
  - 運動系
  - 生殖系

#### 【診療の基本】

- 放射線医学
  - 臨床検査医学
- 【基礎研究実習】
- リサーチセミナー

### 3年次

疾患について学ぶと共に基礎研究について実習を行う。

医と社会III

#### 【正常構造と機能】

- 人体構造系III
- 【疾患各論】
- 精神系
  - 免疫・アレルギー系
  - 脳・神経系
  - 皮膚系
  - 視覚系
  - 耳鼻咽喉口腔系
  - 小児系

#### 【医学・医療と社会】

- 衛生学・分子疫学
- 公衆衛生学
- 法医学系
- 地域医療学

#### 【診療の基本】

- 診断学
  - 外科治療学
  - 臨床疫学・医家情報学
  - 臨床薬理学
  - 東洋医学
  - 総合病理学
  - 臨床推論PBL
- 【臨床実習】
- 臨床実習

### 4年次

疾患と共に診療の基本について学ぶ。

医と社会IV

#### 【臨床実習】

- 臨床実習
- 高次臨床実習I

### 5年次

疾患と診療の知識をふまえて臨床実習を行う。

#### 【臨床実習】

- 高次臨床実習II

### 6年次

疾患と診療の知識をふまえて高次の臨床実習を行う。

## 卒業試験

医学英語

医学ゼミ

※研究医枠

※国際医枠

※熱帯医枠

※地域医枠

プレリサーチセミナー

※研究医枠

※国際医枠

※熱帯医枠

※地域医枠

アドバンストリサーチセミナー

※研究医枠

※国際医枠

※熱帯医枠

※地域医枠



# 医 と 社 会 I

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	1年（前期・後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medicine and Society		

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

医学生として図書館の利用法、プライマリヘルスケアから先進医療についてまで幅広い知識を得るとともに、チーム医療および患者の立場に立った医療に必要な患者の心の理解、患者とのコミュニケーションを学ぶ。同時に体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。また、地域包括ケアシステムを理解し、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

### 1) 実習

- (1) 学内演習（保健学科と共修）
- (2) 病院見学 長崎大学病院医局
- (3) 患者に寄り添う心得
- (4) 学外施設見学 リハビリテーション施設（保健学科と共修）

### 2) 医学テーマ

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| (1) チーム医療・ワークショップ（保健学科と共修）     |                |
| (2) 実習の心得：病院オリエンテーション（保健学科と共修） |                |
| (3) プロフェッショナルリズム               | (7) 対人関係       |
| (4) 地域包括ケアシステム                 | (8) プライマリヘルスケア |
| (5) 地域医療                       | (9) 感染症        |
| (6) 臓器移植・再生医療                  | (10) 臨床倫理      |
| (7) 熱帯医学                       | (11) 図書館の利用法   |

## 3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する

## 4. 成績評価の方法・基準

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

## 5. 教員名

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、西野文子、松坂雄亮、濱口由子  
 保健学科教務委員会：楠葉洋子、松浦江美、森藤香奈子、坂本淳哉、岩永竜一郎、  
 保健学科：沖田実、東登志夫、宮原春美、  
 保健学実践教育研究センター：井口茂  
 教学担当理事：松坂誠應  
 地域医療学：前田隆浩、小屋松淳  
 長崎大学病院長：増崎英明  
 長崎大学病院看護部長：萩原絹子  
 先端医育センター：安武亨、田中邦彦、江川亜希子  
 医療教育開発センター長：浜田久之  
 学術情報部（図書館担当者）：志波原智美、後藤史彦  
 非常勤：荒木利卓（長崎医療センター）  
 非常勤：八坂貴宏（長崎県離島医療圏組合 上五島病院長）



熱帯医学研究所長：森田公一  
第二外科教授：江口晋  
非常勤：永田耕司（活水女子大学看護学部看護学科教授）  
熱帯医学研究所教授：有吉紅也  
長崎大学大学院グローバルヘルス研究科教授：Sharon Cox

「ようこそ先輩」  
外傷センター：宮本俊之  
臨床検査医学：柳原克紀  
産婦人科：増崎英明

## 6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

## 7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

H28年度(1年前期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室	
4	11	月	3	ようこそ先輩(1)「骨を診るコツ」	外傷センター 宮本 俊之	第1講義室	
4	12	火	1	授業ガイダンス	保健学科教務委員 教務担当理事：松坂誠徳 宮原晴美(保)、沖田実(保)、東登志夫(保) 地域包括ケア教育センター	第2講義室	
			2	チーム医療(1)：クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割 総論			
			3	チーム医療(2)：クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割 (保健学科と共修)			
4	18	月	3	ようこそ先輩(2)	臨床検査医学 柳原 克紀	第1講義室	
4	19	火	1	チーム医療(3)：クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割	保健学科教務委員、 地域医療学 看護部長：萩原絹子 リハビリテーション部	第2講義室	
			2	チーム医療(4)：クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割			
			3	ワークショップ(1)「望ましいチーム医療について考える」 (保健学科と共修)			
4	25	月	3	ようこそ先輩(3)「発生学と進化論」	長崎大学病院長 増崎 英明	第1講義室	
4	26	火	1	ワークショップ(2)「望ましいチーム医療について考える」	保健学科教務委員 病院長：増崎英明 地域包括ケア教育センター	第2講義室	
			2	ワークショップ(3)発表			
			3	(保健学科と共修)			
5	2	月	3	ようこそ先輩(4)「代謝(タイシャ)学って、面白い!？」	第一内科 阿比留 教生	第1講義室	
5	10	火	1	実習の心得：病院オリエンテーション (保健学科と共修)	地域包括ケア教育センター、保健学科、 先端医療センター	第4講義室	
			2	病院見学オリエンテーション “大学病院の役割”	先端医療センター 安武亨		
			3	医師のキャリアパスとプロフェッショナルリズム	医療教育開発センター 浜田久之		
				A	B		
5	17	火	1	病院見学 (長崎大学病院医局)	図書館の利用法・情報検索実習	地域包括ケア教育センター 先端医療センター・医学分館	長崎大学病院医局 第2講義室 セミナー室①～⑤
			2		患者に寄り添う心得		
			3				
5	24	火	1	図書館の利用法・情報検索実習	地域包括ケア教育センター 先端医療センター・医学分館	長崎大学病院医局 第2講義室 セミナー室①～⑤	
			2	患者に寄り添う心得			
			3				
6	7	火	1	病院見学のフィードバック・まとめ	地域包括ケア教育センター 先端医療センター	第1講義室	
			2				
6	14	火	1	学外施設オリエンテーション (保健学科と共修)	地域包括ケア教育センター 保健学科 先端医療センター	第2講義室 セミナー室 視聴覚室 ボンベ会館	
			2				
			3				
			4	臨床倫理入門	長崎医療センター 荒木利卓	第2講義室	
			5	プライマリヘルスケア	上五島病院 八坂貴宏		
			6	未定	未定		

				A	B		
6	21	火	1	学外施設見学 (保健学科と共修)	学内演習 (保健学科と共修)	地域包括ケア教育センター 保健学科、 先端医育センター	第4講義室
			2				
			3				
			4				
			5				
			6				
6	28	火	1	学内演習 (保健学科と共修)	学外施設見学 (保健学科と共修)	地域包括ケア教育センター 保健学科、 先端医育センター	第4講義室
			2				
			3				
			4				
			5				
			6				
7	5	火	1	学外施設見学のフィードバック・まとめ (保健学科と共修)		地域包括ケア教育センター	第4講義室
			2				
			3				
			4	熱帯医学	熱研・森田公一	第2講義室	
			5	臓器移植・再生医療	第二外科・江口晋		
			6	未定	未定		
7	11	月	3	ようこそ先輩 (5)	未定	ボードインホール	
7	12	火	1	対人関係	活水女子大学 永田耕司	第2講義室	
			2	感染症とは	熱研・有吉紅也 グローバルヘルス研究科・Sharon Cox		
			3				

#### H28年度(1年後期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	5	月	3	ようこそ先輩 (6)	4年生	第2講義室
2	6	月	3	ようこそ先輩 (7)	未定	第1講義室

# 医学ゼミ

責任者	氏名	柳原 克紀	内線	7574
	教室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

## 2. 授業科目の選択方法

- A 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教員、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

## 3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

## 4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

## 5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命科学研究支援センター教員

## 6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

## 7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

平成28年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(1年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
神経生理 (第二生理)	藤原 一之	心の個人差の脳科学	英語論文、原著輪読を通して心の個人差の脳科学基礎について理解を深めるとともに、英語読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を呈する発達障害と、脳機能・形態、遺伝子多型、内分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これら心の個人差・発達障害の生物学的基礎に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンと議論を行う。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英語読解・プレゼン能力を身につける。	1年後期 2年後期	金曜日1校時	神経機能学 教室	レポート、出席、発表内容等を加味して総合的に評価する。	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	・金曜日1校時(7回程度) ・月一回程度18時~20時30分(地域医療研究会・曜日不定) (4回程度) 上記2つ全てに出席が必要でず。	地域医療学 分野セミナー (医学部基礎棟5階) ボンベ会館 (予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を体験し、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括ケアについての基礎を理解する。	坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワークショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。	1年前期 2年前期 3年前期	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定) 長崎地域医療セミナー in GOTO 8月19日(金)~8月21日(日)	地域医療研究会 (坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナー in GOTO (長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。 ※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
原研国際	高村 界	国際保健入門(1)	推薦入学国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介します。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介します。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	1年前期	月曜日5校時	原研棟3階コミュニティセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	
へき地病院再生 支援・教育機構	調 漸 中補 了太	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療や我が国のこれからの医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する多職種によるを双方向性の講義を中心とする。地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライマリドクターとして活躍する医師のほか行政や地域の保健師も講師として招き、「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半では平戸市民病院で夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加を歓迎する。	1年前期 2年後期 3年前期 4年前期	金曜日 18:00~19:30	医学部基礎棟1階 視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施する地域医療に関するプレゼンテーション等で総合的に判定する。 1年次に関しては地域医療合宿での地域医療実習への出席を必須とする。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般枠の学生の受講も歓迎する。

平成28年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(2年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
神経形態学 (第一解剖)	森 望	Neuroanatomy of the Mind:心の神経解剖学	神経解剖学、神経生理学の知識をベースに「認知」「意識」「感性」「行動」「意欲」等の脳内原理を理解する。その上で、「ここ」がどう生まれ、成長し、円熟するのか、あるいは、ゆらぎ、崩れるのか、自分の頭で考える。脳神経科学、精神医学への橋渡しとする。自らの頭で考え、自らの言葉で語り、自らのスタイルで発表できるようにする。	脳には形があるが、心には形がない。しかし、心は脳内に生まれる。では、脳に心はどう形成されるのか？現代の神経科学、脳科学の知識をベースに、心の形成のナゾへ挑む。	2年後期	金曜日1校時	視聴覚セミナー室3	出席、発表内容、質疑応答、レポート	
肉眼解剖学 (第二解剖)	弦本 敏行	臨床解剖学への招待	様々な疾患の病態・治療を解剖学的側面から理解することにより、それら疾患への理解を深めること	さまざまな臓器に生じる各種の疾患を提示し、それらの発症メカニズムの肉眼的背景について考察する。ゼミは抄読会形式で進行する。解剖学に関連した臨床分野の英語論文を自ら調べた上で読んで理解し、プレゼンテーションする	2年後期	金曜日1校時	ゼミナール室等	出席、発表の評価、質疑応答	
組織解剖 (第三解剖)	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。各回組織発生に関するDVDを鑑賞の後、グループ討論を行う。	2年前期 3年前期	金曜日1校時	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
神経生理 (第二生理)	篠原 一之	心の個人差の脳科学	英語論文、原著輪読を通して心の個人差の脳科学基盤について理解を深めるとともに、英語読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を呈する発達障害と、脳機能形態・遺伝子多型、内分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これら心の個人差・発達障害の生物学的基盤に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンと議論を行う。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英語読解・プレゼン能力を身につける。	1年後期 2年後期	金曜日1校時	神経機能学教室	レポート、出席、発表内容を加味して総合的に評価する。	
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 野理恵 畑山 実	最新の論文から探る医学生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎週1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを活用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教官がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	薬理学教室 セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を涵養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	免疫学分野 集客室	発表内容、参加態度、レポート、出席を総合的に評価	
感染分子	西田 教行 田口 謙	ケースレポートから学ぶ感染症	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う	NEJMのCase reportから感染症の症例を選択的に取り上げ、丁寧に読解を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	基礎棟8階 集客室	出席およびレポート	
感染分子	石橋 大輔	論文から「生物学的現象」を学ぶ	分子生物学の研究を中心とした論文を理解することで、読解力(著者の考えに対する整合性・論理性)を養う	教官および各自が選んだ感染症を題材とした基礎研究についての論文を題材とし、各自が紹介・説明・発表し、議論・討論を行う。	2年後期	金曜日1校時	基礎棟9階 集客室	出席およびレポート	
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	公衆衛生学 資料室	積極性、レポート	
精神神経科	小澤 寛樹	映画から見る精神医学	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神疾患を取り扱った映像作品を毎回取り上げ鑑賞し、1~2、3人がその疾患に関して事前研究と資料作成、講義当日にプレゼンテーション。また様々なトピックでのディスカッションを実施する事で、能動的な参加姿勢を養う。	2年前期	原則として水曜 17時開始	第3講義室または精神科外来63番診察室	①出席率50% ②視聴後に行うディスカッションへ参加意欲・各回の提出レポート50%	毎回映画の視聴後にテーマディスカッション、解説講義を21時頃まで行います。期間内で5校時目以降に他科目を受講する必要がある人、その他予定のある人などは、その点留意して下さい。
精神神経科	今村 明	児童思春期の精神医学を考える	精神医学の世界に於いて児童・思春期の精神医学はその社会的な重要性に比して、専門家が不足している領域である。本ゼミではこの分野を中心に取り上げ、学んでいく。	児童・思春期精神医学についての概要を学んでいく。日本語文献だけでなく、英語文献も含め、正確な知識を学ぶ。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。時間が許せば、課外実習として各種施設などを見学し、実際に学ぶ事も行いたいと考えている。	2年後期	月・水・金曜日 いずれかの18時以降	精神科外来6	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
精神神経科	黒滝 直弘	ハトグラフィーと司法精神医学を究める	ハトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	ハトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、ハトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日又は水曜日18時以降	精神科外来 62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出していただいた課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	木下 裕久	リエゾン症例から学ぶ臨床精神医学(基礎編)	総合病院の一般病棟で遭遇しやすい(すなわち可能性のある)精神障害の症例を題材として、リエゾン精神医学の基本的な考え方を診断から治療にいたる経過を通して学べるような講義とする。	評価ツールの使い方をいれながら、低学年でも興味を持っていただけるような内容にしたいと考える。	2年後期	原則として木曜日19時開始	精神科医局	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出していただいた課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が11名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
小児科	中嶋 有美子	小児在宅医療とは(家に帰るとのこと)	医療の進歩により救命できるお子さんが増え、その後の長期入院により親子家族の絆がほどけやすいものになることがある。命を救うだけでなく、これからは家族が自宅でケアをする在宅医療へ向けての取り組みが重要となってきている。「生きる」ということはどのようなことを在宅医療を通して考える機会にしたい。	在宅医療とはどのような症例が対象となるのか、どのような人々が関わることになるか、どのような制度があるか、何が必要かを知らせて、そこにある問題点や現実を見つけて改善できることがないかを考えてもらいます。	2年後期	木曜日 17:00~	10階小児科医局カンファランス室	レポート提出	
移植・消化器外科 (第二外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club —外科の歴史から手術理論、手術手技、さらには国試対策まで—	外科の入門編から実践さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	1. 科の歴史まで 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロートを知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてとくに語ろう 8. 乳癌外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 16:30~17:30	移植・消化器外科医局(第二カンファランス) 医局受付で問い合わせください。	出席を重要視する。ディスカッション内容、フリートーク形式です。レポート・試験などはありません。	* 講義内容、順番は予定であり若干の変更があります。 * 学会などにより開催されない場合がありますので、開講日には注意ください。 * 欠席する場合は、医局まで連絡ください。 * 時間帯が合わない場合は、申し出て下さい。
泌尿器科	富田 康好	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ?”	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿器科の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足を行う。また、その発表を通じて簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、発表および討論への参加態度。	
眼科	Masafumi Uematsu, Yasser Helmy Wahmed (上松聖典、ヤッセルヘルミーモハメド)	Eye: visual sensory organ	To improve English skill and knowledge of eye diseases	Discussion about eye diseases by using audio visual materials, etc.	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日17:00-18:30	眼科医局	出席、態度、レポートなどにより総合的に評価する	
産科婦人科	増崎 英明 (北島 道夫)	女性の健康について考える	産婦人科の最新の知見について、教室員とのディスカッションを通じて理解を深める	論文抄読、トピックスセミナー、症例検討、講演会	2年前期 3年前期 4年前期	水曜日18:30~	病院11階産科婦人科医局セミナー室	レポート提出	
病理診断科学	古里 文吾	形態から見る「癌って?」	組織を見て癌に起こっている生物学を考えるブレインストーム	がん細胞は本当にモノクローナルなのか? 浸潤とは何か? 癌が惹き起こす周囲の環境の変化はどう考えるのか? なぜ癌はORFにならないのか? などについて、病理学的にアプローチし、ディスカッションを行う。	2年後期	金曜日1校時	病理診断科医局(歯学部C棟)	ディスカッションの能力と理解度。	
救命救急センター	田崎 修	救急医療を体験しよう	救急医療は迅速であってはならない。本ゼミにおいては、限られた時間の中で論理的に思考し、救急疾患の診断と治療を進める救急医療の醍醐味を体験する。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診療法を学ぶ。また、発生、診断、災害への対応、緊急の手技、集中治療等、救急医療で必要となる技術やシミュレーションで体験する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	大学病院救命救急センターに集合	出席や授業態度で評価する。	
臨床感染症学・ 感染制御教育センター	泉川 公一	世界の感染症は制圧できるか?	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先端的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように克服していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・英文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる。地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	・金曜日1校時(7回程度) ・月一回程度18時~20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必要です。	地域医療学分野セミナー(医学部基礎棟5階)ポムベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を体験し、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括ケアについての基礎を理解する。	坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワークショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。	1年前期 2年前期 3年前期	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定) 長崎地域医療セミナー in GOTO 8月19日(金)～8月21日(日)	地域医療研究会(坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナー in GOTO (長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。 ※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
地域包括ケア教育センター	永田 康浩	医師になるってどんなこと？ー包括医療事始めー	医師として患者治療の意義を知り、これに関わる医療資源と社会資源について認識させる。	最先端医療のゴールは患者さんの社会復帰である。疾病を患った患者さんが、医療機関で治療を受け、社会に復帰するまでに、どれだけの医療資源、社会資源を要するかを認識し、理解する。これに関わる、基礎医学、臨床医学、社会医学について考察する。診療の基本手技を学びながら、在宅医療の現場を体験する。	2年後期	金曜日1校時	医学部基礎棟教育カンファレンス室	出席態度およびレポート内容	
地域包括ケア教育センター	松坂 雄亮	精神科医と学ぶ総合診療への道	人体の基礎知識と疾患の成り立ちを中心に網羅的に復習し、症例を題材とした学習を通して診断から治療への流れを感覚として身に着ける。精神科医という種「その運のプロではない者」とも行うことで、これからの臨床実習・初期研修で得ずべきエッセンスを見出す機会とする。	1回の授業で1つの症例をテーマにする。ロールプレイ形式で医療面接の練習を行い、症例に関する基礎医学的、病理学的な知識を復習する。また、診断に至る過程と基本的な治療法も学び、1つの疾患を時系列的なストーリーとして把握することで、実臨床に近い形で知識を習得する。毎回異なる臓器の異なる病態について学び、ゼミ全体として総合診療的な能力を身に着ける。	2年後期	金曜日 17:00-18:30	精神科医局	ゼミへの積極的な参加姿勢や取り組み状況を総合的に評価する	
原研国際	高村 昇	国際保健入門(2)	一年時に引き続き、推薦入学国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、国際保健に関する成書の輪読会を行い、あわせて国際保健に関する概説を行う。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	「Textbook of International Health」をはじめとする国際保健関連の英文資料を輪読することで国際保健、国際医療の実践についてより深い理解を得る。	2年後期	月曜日5校時	原研棟3階コミュニティセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	
探索病理(病理1)	下川 功林 洋子	楽しい病理学;剖検例の検討	解剖症例を通して、主要な疾患の臨床所見、病態、および死因を考察する。	解剖症例の臨床的および病理組織学的検討。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	第一病理医局図書室	出席、参加態度、発表を総合的に評価する。	
へき地病院再生支援・教育機構	調 漸 中 楠 了太	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療や我が国のこれからの医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する多職種による双方向性の講義を中心とする。地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクターとして活躍する医師のほか行政や地域の保健師も講師として招き、「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半では平戸市民病院で夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する予定である。地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加を歓迎する。	1年前期 2年後期 3年前期 4年前期	金曜日 18:00～18:30	医学部基礎棟1階視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施するプレゼンテーション等で総合的に判定する。 1年次に関しては地域医療合宿での地域医療実習への出席を必須とする。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般枠の学生の受講も歓迎する。
先端医学センター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学・スポーツ栄養学など	2年後期 3年前期	火曜日または木曜日16:30から	医学部セミナー室2など	授業参加状況、レポートなど	体育会系部活に所属する人、スポーツに興味がある人、グループ討議が出来る人を募ります。



平成28年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(3年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
組織解剖 (第三解剖)	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。各回組織発生に関するDVDを鑑賞した後、グループ討論を行う。	2年前期 3年前期	金曜日1校時	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 美 理恵 畑山 美	最新の論文から探る医学 生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的な背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎週1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教員がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	薬理学教室 セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその程度にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を涵養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	免疫学分野 集会室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行 田口 謙	ケースレポートから学ぶ感染症	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う	NEJMのCase reportから感染症の症例を選択的に取り上げ、丁寧に読解を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	基礎棟8階 集会室	出席およびレポート	
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	公衆衛生学 資料室	積極性、レポート	
第一内科	川上 純	臨床内科のエッセンス	Early Bird lesson(EBL)への参加を行ない、臨床の基本的な考え方を学ぶ。	当科では臨床実習生、初期研修医に対して行なわれるEarly Bird lesson(EBL)へ参加する。EBLは、鑑別診断・病態の説明や標準的治療の解説から、最新のトピックスまでの内容を学び、参加を通じて実際の臨床の考え方を学ぶ。	3年前期 4年前期	火曜日・水曜日 午前7時45分～ 8時30分	本館9階ゼミ 室(906号室)	出席やレポートによる 総合評価	
消化器内科	竹島 史直	GUT CLUB	様々な腸疾患の臨床をより深く学習する。	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究やUp to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	3年前期	金曜日16時30 分	病院本館9階 チャーム室	出席や発表内容より 総合的に評価	
精神神経科	黒滝 直弘	ハトグラフィーと司法精神 医学を究める	ハトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	ハトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定的人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、ハトグラフィーによる分析を実施する。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日又は水 曜日18時以降	精神科外来 62番診察室	①ゼミへの積極的な 参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出 してもらった課題の成果 以上を総合的に判断 する	参加希望者が10名を超過する場 合には、希望者への事前課題等 で選考を実施する場合もある。ま た方からの実施のため、その 時間帯での別の講義や私的予定 など、受講にあたっては十分考慮 すること。
腫瘍外科 (第一外科)	日高 重和	内視鏡下手術入門～応用	20世紀後半から急速に進歩した内視鏡下手術は外科手術の概念を変え、現在でもその装置、手術手技は進歩し続けている。最先端の技術であってもその基本手技は以前の開腹手術と同様に非常に重要である。内視鏡下手術の原理、基本操作から応用をトレーニング装置で学びながら、内視鏡下手術への理解を深めてもらう。	内視鏡下手術の基礎としてドライボックス、VRシミュレーターを用いて実際の操作手技を体験してみる。次第に高度なテクニックに移行する。その後、シミュレーターを用いた胆嚢摘出術、ロボット手術シミュレーターに挑戦する。	3年前期 4年前期	水曜日5校時	腫瘍外科医 局	実践トレーニングが 主なため出席が重視 されます。レポート提 出あり。	
移植・消化器外 科 (第二外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club -外科の歴史から手術理 論、手術手技、さらには国 試対策まで-	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	1. 科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロートって何?知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳腺外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 16:30～17:30	移植・消化器 外科医局(第 二カンファ 室): 医局受 付で問い合 わせてくださ い。	出席を重要視する。 ディスカッション内 容。フリーク形式 ですので、レポート 試験などはありませ ん。	* 講義内容、順番は予定であり 若干の変更があり得ます。 * 学会などにより開催されない場 合がありますので、開講日には注意 ください。 * 欠席する場合は、医局まで連絡 ください。 * 時間帯が合わない場合は、申 し出て下さい。
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ「泌尿器科ってなんだ？」	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解をもつていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足をを行う。また、その発表を通して簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	泌尿器科医 局	出席率、発表および 討論への参加態度。	
眼科	Masafumi Uematsu, Yasser Helmy Mohamed (上松聖典、ヤッセル ヘルミーモハメド)	Eye: visual sensory organ	To improve English skill and knowledge of eye diseases	Discussion about eye diseases by using audio/visual materials, etc.	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日17:00- 18:30	眼科医局	出席、態度、レポート などにより総合的に 評価する	

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
産科婦人科	増崎 英明 (北島 道夫)	女性の健康について考える	産婦人科の最新の知見について、教室員とのディスカッションを通じて理解を深める	論文抄読、トピックセミナー、症例検討、講演会	2年前期 3年前期 4年前期	水曜日 18:30～	病院11階産婦人科医局ゼミナール室	レポート提出	
臨床検査医学	柳原 克紀	分子診断	臨床検査の観点から分子診断を学ぶ	臨床検査の観点から、臨床微生物や腫瘍の分子診断に関する文献を読む。学生は提供された文献について学習し、発表する。	3年前期 4年前期	金曜日 1校時 (隔週)	臨床検査医学医局(12階)	積極的な参加、文献の理解、発表を評価する。	
救命救急センター	田崎 修	救急医療を体験しよう	救急医療は拙速であってはならない。本ゼミにおいては、限られた時間の中で論理的に思考し、救急疾患の診断と治療を進める救急医療の醍醐味を体験する。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診療法を学ぶ。また、蘇生、診断、災害への対応、緊急的技法、集中治療等、救急医療で必要となる技術をシミュレーションで体験する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 1校時	大学病院救命救急センターに集合	出席や授業態度で評価する。	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	世界の感染症は制圧できるか？	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先端的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日 5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療に関する論文(邦文・英文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。</li> <li>・WS形式で知識を共有し理解を深める。</li> <li>・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。</li> <li>・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。</li> <li>・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。</li> </ul>	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金曜日 1校時(7回程度)</li> <li>・月一回程度 18時～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度)</li> </ul> 上記2つ全てに出席が必要である。	地域医療学分野ゼミナール室(医学部基礎棟5階)ボンベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を体験し、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括ケアについての基礎を理解する。	坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワークショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。	1年前期 2年前期 3年前期	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定) 長崎地域医療セミナー in GOTO 8月19日(金)～8月21日(日)	地域医療研究会(坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナー in GOTO(長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。 ※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
探索病理(病理1)	下川 功林 洋子	面白い病理学:剖検例の検討	解剖症例を通して、主要な疾患の臨床所見、病態、および死因を考察する。	解剖症例の臨床的および病理組織学的検討。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 1校時	第一病理医局図書室	出席、参加態度、発表を総合的に評価する。	
へき地病院再生支援・教育機構	調 漸 中 楠 了太	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療や我が国のこれからの医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する多職種によるを双方向性の講義を中心とする。地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクターとして活躍する医師のほか行政や地域の保健師も講師として招き、「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半では平戸市民病院で複合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加を歓迎する。	1年前期 2年後期 3年前期 4年前期	金曜日 18:00～19:30	医学部基礎棟1階視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施するプレゼンテーション等で総合的に判定する。 1年次に関しては地域医療合宿での地域医療実習への出席を必須とする。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般枠の学生の受講も歓迎する。
先端教育センター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学・スポーツ栄養学など	2年後期 3年前期	火曜日または木曜日 16:30から	医学部ゼミナール室2など	授業参加状況、レポートなど	体育会系部活に所属する人、スポーツに興味がある人、グループ討議が出来る人を募ります。

平成28年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(4年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 栗 理恵 畑山 実	最新の論文から探る医学 生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的な背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎週1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教員がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	薬理学教室 セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	免疫学分野 集客室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行 田口 謙	ケースレポートから学ぶ感染症	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う	NEJMのCase reportから感染症の症例を選択的に取り上げ、丁寧に読解を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	基礎棟8階 集客室	出席およびレポート	
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	公衆衛生学 資料室	積極性、レポート	
第一内科	川上 純	臨床内科のエッセンス	Early Bird lesson(EBL)への参加を行ない、臨床の基本的な考え方を学ぶ。	当科では臨床実習生、初期研修医に対して行なわれるEarly Bird lesson(EBL)へ参加する。EBLは、鑑別診断・病態の説明や標準的治療の解説から、最新のトピックスまでの内容を含み、参加を通して実際の臨床の考え方を学ぶ。	3年前期 4年前期	火曜日・水曜日 午前7時45分～ 8時30分	本館9階ゼミ 室(906号室)	出席やレポートによる 総合評価	
消化器内科 (光学医療診療 部)	大仁田 賢	内視鏡道場	内視鏡画像を見て、診断にたどり着くまでの技術を身につけ、内視鏡に親しみを持てるようにする。	実際の上下部消化管、カプセル内視鏡などの画像を見て、まずは異常所見の拾い上げ、そしてそれがどういった疾患であるのか鑑別診断を考えながら診断にたどり着くまでの過程を身につける。	4年前期	金曜日5校時	消化器内科 医局	出席や積極性など総合的に評価する	
循環器内科	前村 浩二	心電図道場(好きになる心電図)	心電図に対する苦手意識をなくし、楽しく判読ができるようになることをめざす。	講義で学んだだけでは、心電図判読に苦手意識を持っている学生が多い。心電図判読のコツは最初心電図判読の作法を理解した上で、多くの症例の心電図を自分で読んでみることである。本ゼミでは、さまざまな症例の心電図を自分で実際に読んでもらい、それを添削しながら判読のコツをつかんでもらう。後半では症例に即してクイズ形式で読んでもらい、また心電図判読を入口にして、循環器疾患が好きになるような心エコーなどの実地的な内容も盛り込む。	4年前期	金曜日5校時	病院本館9階 ゼミナール 室(906)	出席率、討論参加度	
精神神経科	黒滝 直弘	ハトグラフィーと司法精神 医学を究める	ハトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	ハトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、ハトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視聴覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日又は水 曜日18時以降	精神科外来 62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
腫瘍外科 (第一外科)	日高 重和	内視鏡下手術入門～応用	20世紀後半から急速に進歩した内視鏡下手術は外科手術の概念を変え、現在でもその装置、手術手技は進歩し続けている。最先端の技術であつてもその基本手技は以前の開腹手術と同様に非常に重要である。内視鏡下手術の原理、基本操作から応用をトレーニング装置で学びながら、内視鏡下手術への理解を深めてもらう。	内視鏡下手術の基礎としてドライボックス、VRシミュレーターを用いて実際の操作手技を修練してみる。次第に高度なテクニックに移行する。その後、シミュレーターを用いた腹腔鏡手術、ロボット手術シミュレーターに挑戦する。	3年前期 4年前期	水曜日5校時	腫瘍外科医 局	実践トレーニングが 主なため出席が重視 されます。レポート提 出あり。	
移植・消化器外 科 (第二外科)	江口 晋	Nagasakisurgical club -外科の歴史から手術理 論、手術手技、さらには国 試対策まで-	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の遺教知新:ピルロットで知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳癌外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熟く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 16:30～17:30	移植・消化器 外科医局(第 二カンファ 室);医局受 付で問い合 わせてくださ い。	出席を重視する。 ディスカッション内 容。フリーク形式 です。レポート・ 試験などはありませ ん。	* 講義内容、順番は予定であり 若干の変更があります。 * 学会などにより開催されない場合 がありますので、開講日には注意 ください。 * 欠席する場合は、医局まで連絡 ください。 * 時間帯が合わない場合は、申 し出て下さい。
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ「泌尿器科 ってなんだ？」	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガを用いて、学生自身が自主進捗する形で発表を行う。これに適宜教員からの補足をを行う。また、その発表を通して簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	泌尿器科医 局	出席率、発表および 討論への参加態度。	

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
眼科	Masafumi Uematsu, Yasser Helmy Mohamed (上松聖典、ヤッセル ヘルミーモハメド)	Eye: visual sensory organ	To improve English skill and knowledge of eye diseases	Discussion about eye diseases by using audiovisual materials, etc.	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日 17:00- 18:30	眼科医局	出席、態度、レポート などにより総合的に 評価する	
産科婦人科	増崎 英明 (北島 道夫)	女性の健康について考える	産婦人科の最新の知見について、教室員 とのディスカッションを通じて理解を深める	論文抄読、トピックセミナー、症例検討、 講演会	2年前期 3年前期 4年前期	水曜日 18:30~	病院11階産 婦人科医局 ゼミナール 室	レポート提出	
臨床検査医学	柳原 克紀	分子診断	臨床検査の観点から分子診断を学ぶ	臨床検査の観点から、臨床微生物や腫瘍 の分子診断に関する文献を読む。学生は 提供された文献について学習し、発表す る。	3年前期 4年前期	金曜日 1校時 (隔週)	臨床検査医 学医局(12 階)	積極的な参加、文献 の理解、発表を評価 する。	
救命救急セン ター	田崎 修	救急医療を体験しよう	救急医療は拙速であってはならない。本 ゼミにおいては、限られた時間の中で論 理的に思考し、救急疾患の診断と治療 を進める救急医療の醍醐味を体験する。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診 療法を学ぶ。また、蘇生、診断、災害への 対応、緊急の手法、集中治療等、救急医 療で必要となる技術をシミュレーションで 体験する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 1校時	大学病院救 命救急セン ターに集合	出席や授業態度で評 価する。	
臨床感染症学・ 感染制御教育 センター	泉川 公一	世界の感染症は制圧でき るか？	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に 対して人類はどのように対応しているかを 学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療にお いてヒトが勝者になれるか、その可能性 を探る。	日本のみならず世界各地で発生している 様々な感染症について、その診断、治療 ならびに先端的な研究について学び、ヒト が微生物をどのように攻略していくのかそ のプロセスを学び、臨床と基礎のbridging とは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日 5校時	長崎大学病 院	出席状況、発表など の総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現 場のプロフェッショナルから話を聞き、地 域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・英文)や 記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショ ナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域 医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現 場で働く人を招いて行う研究会に出席す る。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	・金曜日 1校時 (7回程度) ・月一回程度 18 時~20時30分 (地域医療研究 会・曜日不定) (4回程度) 上記2つ全てに 出席が必要で す。	地域医療学 分野セミナ ー室 (医学部基礎 棟5階) ボンベ会館 (予定)	出席とレポートとゼミ 受講態度	
探索病理 (病理1)	下川 功 林 洋子	面白い病理学: 剖検例の検 討	解剖症例を通して、主要な疾患の臨床所 見、病態、および死因を考察する。	解剖症例の臨床的および病理組織学的 検討。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 1校時	第一病理 医局図書室	出席、参加態度、発表 を総合的に評価す る。	
法医学	山本 琢磨	異状死とは？死者からの 伝言	法医学教室ではさまざまな死と遭遇する。 事件事故であれ病気であれ、死には必ず 原因があり、生には常にその原因が付随 している。各々の症例についてそんな観 点から考え、異状死(突然死)について医 療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案 書、解剖検査記録などを参考にして、「な ぜ亡くなったのか」、さらには「防ぐこと はできたのか」を考える。適宜、論文検討 を加え、最終的に症例報告として報告書 をまとめる。	4年前期	金曜日 5校時	基礎棟6階 法医学教室 大学院セミ ナー室	総合的に評価する	
第二内科	宮崎 泰可	内科診療実践編	教科書を読むだけではわからない、内科 臨床医に求められる実践的な判断力、手 技を身につける。	模擬病歴、実際の画像、シミュレーターな どを用いて実践的な内科の知識と手技の 習得を目指す。	4年前期	金曜日 1校時	病院7Fシ ミュレーショ ンセンター	出席状況、レポート、 討論への参加具合の 評価。	
へき地病院再生 支援・教育機構	調 漸 中 補 了太	離島・へき地医療の達人か ら学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これか らの地域医療や我が国のこれからの医療 について考える	離島・へき地の第一線で活躍する多職種 による双方向性の講義を中心とする。 地域医療に密接に関係する家庭医や、病 院総合医、プライドクターとして活躍する 医師のほか行政や地域の保健師も講師 として招き、「地域医療」という概念とし たイメージをリアルな物として認識する。 ゼミの後半では平戸市民病院で夏合宿や、実 際にへき地や離島医療を体験する離島ツ アーも2泊3日程度で開催する予定であ る。 地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加 を歓迎する。	1年前期 2年後期 3年前期 4年前期	金曜日 18:00~19:30	医学部基礎 棟 1階 視 聴覚教室1	出席、講義のレポ ート、最終日に実施す る地域医療に関する プレゼンテーション等 で総合的に判定す る。 1年次に関しては地 域医療合宿での地域 医療実習への出席を 必須とする。	地域医療、へき地・離島医療に関 心のある一般枠の学生の受講も 歓迎する。

# 医 と 社 会 II

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Medicine and Society		

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれて  
いる環境を洞察しうる医師となる。病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、  
患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。  
患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、老健施設などの体験を通して、患  
者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解す  
る。また高齢者と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを  
学ぶ。前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作  
する中で、診療の心得を習得する。長崎純心大学、保健学科との共修を通して医療・福祉・  
介護の多方面からの視点を理解し尊重する。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

- A 医療と人間（保健学科と共修）  
人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行  
う。
1. 人の心の発達  
乳幼児と親の心、子供と社会 児童虐待の現状から、子供の心の発達、学童期、思春期
  2. 性と生  
人間の性 概論、ドメスティックバイオレンス
  3. 高齢期を生きる  
高齢期介護の実際、認知症高齢者を家族と地域で支える、地域における高齢者の生活を考える
  4. 医療人と患者及び家族との関係  
緩和ケア・ターミナルケア・ホスピスケア
- B **Early Exposure**（医学科）  
老健施設などの体験実習に参加し、体験に基づいたレポートを作成する。
- C 診療の心得（診療マナー、バイタルサインの取り方、超音波や心電計等の基本操作）
- D 事例検討（長崎純心大学、保健学科と共修）

## 3. 教科書、参考書等

必要に応じて各講義の最初の時間に紹介する。

## 4. 成績評価の方法・基準

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習にはすべて出席すること。

授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

- A：出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。講義・実習には全て出席す  
ること。
- B：体験に基づいたレポートを提出する。  
レポート、発表会、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義  
を欠席した学生には別途課題を課す。
- C：出欠状況、実習態度、レポートなどを総合して評価する。
- D：出欠状況、実習態度、レポートなどを総合して評価する。

## 5. 教員名

委員：医育支援センター：安武亨、田中邦彦、江川亜希子、保健学科教務委員

A 1：川原ゆかり（長崎短期大学保育学科教授）、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター診療部長）、福田雅文（みさかえの園むつみの家施設長）

A 2：安日泰子（やすひウィメンズヘルスクリニック院長）、中田慶子（DV防止ながさき）

A 3：陣野紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎弘之（すがさきクリニック院長）、石松隆和（工学部）

A 4：中尾勘一郎（ホーム・ホスピス 中尾クリニック院長）、

B, C, D：地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、西野文子、  
松坂雄亮、濱口由子

地域医療学：前田隆浩、門田耕一郎、田山淳（保健・医療推進センター）

保健学科：中尾理恵子（保健学科）

D：非常勤：潮谷有二（長崎純心大学教授）、宮野澄男（長崎純心大学准教授）、  
保健学科：井口 茂

## 6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

## 7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

H28年度(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容		担当講座等・教員	教室
9	28	水	3	性と生1	オリエンテーション	人間の性、概論	非常勤・安日泰子(保健学科と共修)	2講
9	28	水	4	人の心の発達1	乳児と親の心		非常勤・福田雅文(保健学科と共修)	2講
10	5	水	3	人の心の発達2	子供と社会 児童虐待の現状から		非常勤・川原ゆかり(保健学科と共修)	2講
10	5	水	4	高齢期を生きる1	高齢者介護の実際		非常勤・陣野紀代美(保健学科と共修)	2講
10	12	水	3	人の心の発達3	子供の心の発達、学童期、思春期		非常勤・小柳憲司(保健学科と共修)	2講
10	12	水	4	性と生2	ドメスティックバイオレンス		非常勤・中田慶子(保健学科と共修)	2講
10	19	水	3	医療人と患者及び家族との関係	緩和ケア・ターミナルケア・ホスピスケアって?		非常勤・中尾勘一郎(保健学科と共修)	2講
10	19	水	4	地域包括	共修事前授業		非常勤:長崎純心大学・潮谷有二	2講
10	26	水	3	地域包括	共修【医学科・保健学科・長崎純心大学】		地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	2講
10	26	水	4					2講
11	2	水	3	地域包括	共修【医学科・保健学科・長崎純心大学】		地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	2講
11	2	水	4					2講
11	10	木	3	高齢期を生きる2	認知症高齢者を家族と地域で支える		非常勤・菅崎弘之(保健学科と共修)	2講
11	10	木	4	高齢期を生きる3	地域における高齢者の生活を考える		非常勤・石松隆和(保健学科と共修)	2講
11	16	水	3	地域医療	「認知行動療法の適用とその効果」		保健医療推進センター・田山淳	2講
11	16	水	4		「高齢者・障害者の健康生活支援～在宅療養の高齢者を中心に」		保健学科・中尾恵子	2講
11	30	水	3	地域包括	実習オリエンテーション		地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	2講
11	30	水	4					2講
12	7	水	1	Early Exposure	高齢者診療施設(老健施設)	診療の心得	地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
12	7	水	2					1講
12	7	水	3	Early Exposure	高齢者診療施設(老健施設)	診療の心得	地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
12	7	水	4					1講
12	14	水	1	Early Exposure	診療の心得	高齢者診療施設(老健施設)	地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
12	14	水	2					1講
12	14	水	3	Early Exposure	診療の心得	高齢者診療施設(老健施設)	地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
12	14	水	4					1講
12	21	水	3	地域包括	実習の振り返り		地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
12	21	水	4					1講
1	4	水	3	地域包括	地域包括ケアにおける患者・家族の理解		地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
1	4	水	4					1講
1	11	水	3	地域包括	地域包括ケアシステムのまとめ		地域包括ケア教育センター 先端医育センター、地域医療学	1講
1	11	水	4					1講

# 医と社会Ⅲ

## 前期

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・通年（前期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical ethics and philosophy		

### 1. 授業のねらい・方法・到達目標

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所の体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。

同時に診察、介護などの体験実習を通して、診察や介護面で出てきた問題点を抽出し、自己による問題解決能力を身につける能動学習法を実践する。また、前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。また、ワークライフバランスについて、仕事と生活の相乗効果を高める考え方を学ぶ。

### 2. 授業内容（講義・実習項目）

#### 1) 実習

(1)診療所体験実習 (2)診療の心得

#### 2) 講義(実習も含む)内容

- (1) 患者とのコミュニケーション（模擬患者）
- (2) 患者診察入門
- (3) 介護・介助
- (4) 多職種間医療連携
- (5) 地域医療
- (6) ワークライフバランス
- (7) 地域包括ケアシステム

#### 3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

### 3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

### 4. 成績評価の方法・基準

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。授業回数分の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

### 5. 教員名

メディカルワークライフバランスセンター：伊東 昌子  
榎木晶子（九州大学大学院医学研究院保健学部門）  
保健学科：井口 茂  
歯学部：藤原 卓  
周術期口腔管理センター：梅田 正博  
摂食嚥下リハビリテーションセンター：三串 伸哉  
薬学部：中嶋 幹郎



歯学部：吉村 篤利

先端医育センター：安武 亨、田中 邦彦、江川 亜希子

地域包括ケア教育センター：永田 康浩、久芳 さやか、西野 文子、松坂 雄亮、  
濱口 由子

消化器内科：中尾一彦、竹島史直

地域医療学：前田隆浩、門田耕一郎

## 6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

## 7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

## 後期

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医療センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		
対象年次・学期		3年・通年（後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修	単位数	2.5
英語名		Medical ethics and philosophy		

### 1. 授業のねらい・方法・到達目標

これまで医と社会では、「病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている社会・環境を洞察しうる医師となる」ことなどをめざして、主として医療従事者から見た講義・実習が行われてきた。一方、我々がおかれている現代社会において、「何が正義か?」、「何に価値をおくべきか?」、「倫理観とはどうあるべきか?」、といった根本的な哲学については、病気の診断・治療などの現場の対応に追われていると、社会背景を考慮しているようでも、しだいに見えなくなってゆくものがある。3年生後期の医と社会では、医療職でない立場の人から見た場合の、それら哲学・倫理・社会観を紹介していただき、そこで提起される問題について、学生の皆さんと一緒に考えてもらうことをひとつの目標とする。また、これまでなかなか触れる機会の少なかった歯学系分野についても学んでいく。

### 2. 授業内容（講義・実習項目）

本年度は、医療倫理分野、歯学系分野、薬害問題、国家行政等幅広い分野についてのお話を聞き、医療をより様々な面より考える。

### 3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

### 4. 成績評価の方法・基準

出席状況などを総合して評価する。講義には全て出席すること。授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

### 5. 教員名

秋葉 悦子（富山大学経済学部）  
 間宮 清（いしずえの会）  
 貝沼 茂三郎（九州大学大学院医学研究院地域医療教育ユニット）  
 坂上 祐樹（宮崎市健康管理部）  
 秋野 公造（参議院議員）  
 藤原 卓（歯学部）  
 中山 鋼（研究高度化支援室）  
 斐英洙（ハイズ株式会社代表取締役社長）  
 中富 克己（第二内科）

### 6. 備考

10/7、10/14、10/21は 歯学部（5年次）との共修である。

H28年度3年生

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室	
4	7	木	3	地域包括	地域包括ケアにおける医療の役割	地域包括ケア教育センター：永田 康浩 保健学科：井口 茂	4講	
4	7	木	4		リハビリテーション総論		4講	
4	14	木	3	医育センター	う蝕（むし歯）について	歯学部：藤原 卓	4講	
4	14	木	4	医育センター	行動科学	医育センター：安武 亨	4講	
4	21	木	3	地域包括	口腔ケアに関する授業	地域包括ケア教育センター：永田 康浩 周術期口腔ケアセンター：梅田 正博	4講	
4	21	木	4		摂食嚥下リハビリに関して		地域包括ケア教育センター：永田 康浩 摂食嚥下リハビリテーションセンター：三串 伸哉	4講
4	28	木	3	地域包括	地域包括ケアにおける薬剤師の役割	薬学部：中嶋 幹郎 地域包括ケア教育センター：永田 康浩	4講	
4	28	木	4		医療と栄養		4講	
5	25	水	3	オリエンテーション	学外体験実習について	地域包括ケア教育センター	4講	
5	25	水	4		未定		4講	
6	3	金	3	Early Exposure	診療所（1）	診療の心得	地域包括ケア教育センター	4講
6	3	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	10	金	3	Early Exposure	診療所（2）	診療の心得	地域包括ケア教育センター	4講
6	10	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	17	金	3	Early Exposure	診療の心得	診療所（1）	地域包括ケア教育センター	4講
6	17	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	24	金	3	Early Exposure	診療の心得	診療所（2）	地域包括ケア教育センター	4講
6	24	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	28	火	3	医育センター	歯周病について	歯周病学分野：吉村 篤利	1講	
6	28	火	4	医育センター	矯正医療について	福岡矯正管区	1講	
7	4	月	1	ワークライフバランス	医師にとってのワークライフバランス	伊東 昌子	4講	
7	4	月	2		PBL グループ討論	伊東 昌子	4講	
7	4	月	3		グループ発表・全体討論	伊東 昌子	4講	
7	4	月	4		キャリア講習	伊東 昌子、 外部講師：樗木 晶子	4講	
7	13	水	1	Early Exposure	実習のフィードバック・まとめ	地域包括ケア教育センター	4講	
7	13	水	2				4講	

医と社会授業予定(3年後期)

10	7	金	3	医療安全や医療の質管理	歯学部：藤原 卓	4講	↑ 歯学部と共修 ↓
10	7	金	4	国家行政での業務について	研究高度化支援室（MEDURA）： 中山 鋼	4講	
10	14	金	3	未定		4講	
10	14	金	4	終末期医療における倫理と法 — 医師の職業倫理に立脚した法の形成に向けて —	富山大学：秋葉 悦子	4講	
10	21	金	3	薬害問題（市販薬の薬害／サリドマイド）	間宮 清	4講	
10	21	金	4	日常診療の臨床倫理	第二内科：中富 克己	4講	
10	28	金	3	地域医療	宮崎市健康管理部 坂上 祐樹	4講	
10	28	金	4		地域医療	参議院議員 秋野 公造	
11	4	金	3	漢方について	貝沼 茂三郎	4講	
11	4	金	4	病院経営について	ハイズ株式会社代表取締役 社長：斐英洙	4講	

# リサーチセミナー

責任者	氏名	福岡順也	内線	7053
	教室	臨床病理学	e-mail	fukuokaj@nagasaki-u.ac.jp
	アドバイザー			
対象年次・学期	3年・後期		講義形態	講義・実習
必修・選択	必修		単位数	11.5
英語名	Research Seminar			

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

有能な医師になる為には、基礎研究を理解し、実施する能力が必須である。医学はまだ発展途上にあり、有能な医師は、その発展の一端を担える能力、研究成果の是非を判断する能力を習得しなければならない。現在、専門医の重要性が強調される裏側で、研究に対する意識が薄らぐ傾向にあると言えるが、リサーチセミナーでは、研究の実践を通じて「医学」が「科学」としていかに発展するかというプロセスを学ぶ。セミナー期間中は、熱帯医学研究所・原爆後遺症医療研究所を含む基礎系教室で終日研究活動に従事し、配属先の基礎医学系教員とマンツーマンの指導を受け、研究背景を学術論文から理解し、研究計画書を作成して実践し、研究結果をまとめ、発表および討論を行う能力を身につけることを目標とする。なお合同発表会は、可能な限り一般公開する。

## 2. 期間

平成29年1月4日（水）から2月24日（金）  
研究報告書は学務係まで提出すること。（締め切り3月1日（水））

## 3. 研究テーマの選択方法

1. 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教官名とそのテーマに従事する学生数が公示される。
2. 各学生は希望する教室とテーマを1つ選択して提出する。
3. この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
4. 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
5. 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを1つ選択して提出する。
6. 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4. と5. の操作を繰り返す。

## 4. リサーチセミナー履修の認定の条件

1. セミナー開始時にオリエンテーション（総合オリエンテーション、実験動物についての講義）、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
2. 研究活動に200時間以上に従事していること。
3. 研究報告書（A4のフォーマットを準備）を学務係へ提出すること。（締め切り3月1日）  
（ワープロまたはボールペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可）
4. 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教官はこの評価をリサーチセミナー責任者に提出する。（締め切り3月1日）
5. 今年度5月に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席していること。
6. 翌年度に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席し、発表・討論を行うこと。

## 5. 指導講座等

医学部及び熱帯医学研究所・先導生命科学支援センターの基礎系講座。

## 6. 成績評価の方法・基準

研究報告書・担当教官の評価・発表会の評価から総合的に評価する。

## **7. アクティブラーニング**

アクティブラーニングを加味する。

# 医 と 社 会 IV

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・通年（前期・後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	0.5
英語名	Medicine and Society		

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても学ぶ。また、コア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を認識した上での医事法制を学ぶ。また、前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深める。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また、医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。また、地域包括ケアシステムの理解を深めるため、地域包括支援センターや訪問看護の役割等について講義を行う。多職種連携症例検討も行う。

## 3. 教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少なくない。必要に応じて各講義で紹介する。

## 4. 成績評価の方法・基準

出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。講義・実習には全て出席すること。授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

## 5. 教員名

先端医育センター：安武亨、田中邦彦、江川亜希子

麻酔科：北條美能留

細胞療法部：長井一浩

救命救急センター：山下和範

保健学科教授：大西真由美

小児歯科教授：藤原卓

非常勤：江崎宏典（長崎医療センター院長）

非常勤：児島達美（長崎純心大学人文学部教授）

非常勤：永田耕司（活水女子大学教授）

非常勤：浅野直人（福岡大学名誉教授）

非常勤：福田浩久（弁護士）

非常勤：早島理（龍谷大学大学院・実践真宗学研究科教授）

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、西野文子、松坂雄亮、濱口由子

## 6. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

H28年度4年生(前期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	金	2	がん患者とのコミュニケーション	活水女子大学 永田 耕司	第4講義室
4	8	金	2	災害医療（保健学科と共修）	救急救命センター 山下 和範	第2講義室
4	15	金	2	がん患者と家族（保健学科と共修）	長崎純心大学 児島 達美	第4講義室
4	22	金	2	死生学	龍谷大学 早島 理	良順会館・ボードインホール
5	2	月	1	大学病院における緩和ケア	麻酔科 北條 美能留	第4講義室
			2	医療安全1 医療のクオリティマネージメントと安全管理	歯学部 藤原 卓	第4講義室
5	6	金	2	医療事故と医師の民事責任	福岡大学 浅野 直人	良順会館・ボードインホール
5	13	金	2	法社会と医療	弁護士 福田 浩久	第1講義室
5	20	金	2	医療安全2 医療の質と安全の確保	細胞療法部 長井 一浩	第4講義室
7	7	木	3	途上国における国際保健	保健学科 大西 真由美	第4講義室
			4	医療リスクマネジメント	長崎医療センター 江崎 宏典	第4講義室
7	14	木	3	未定	未定	第4講義室
			4	地域包括ケアシステムと多職種連携Ⅰ	地域包括ケア教育センター 長崎純心大学 潮谷有二	第1講義室 視聴覚・セミナー室
7	21	木	3	地域包括ケアシステムと多職種連携Ⅱ	地域包括ケア教育センター	第1講義室 視聴覚・セミナー室
			4			第1講義室 視聴覚・セミナー室

医と社会授業予定(4年後期) 医歯薬共修

10	17	月	5	多職種連携症例検討(1)	地域包括ケア教育センター、先端医育センター	第2, 3, 4講義室
10	24	月	5	多職種連携症例検討(2)	地域包括ケア教育センター、先端医育センター	第2, 3, 4講義室

## 臨床実習

責任者	氏名	上谷 雅孝	内線	7355
	教室	放射線医学	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	4年・後期、 5年・前期、後期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	5.5単位
英語名	Clinical Clerkship I (Core clerkship rotation)		

### 1. 授業のねらい・方法・到達目標

臨床の現場を実際に体験し、これまでに学んできた基礎医学、社会医学および臨床医学の基本的知識を再構築して応用し、患者が抱えている問題を解決する能力を身につける。目標は、①受持ち患者の情報を収集し、診断して治療計画を立てる。②受持ち患者の基本的な身体診察ができる。③基本的手技を学ぶ。である。更に、患者を全人格としてとらえ、対応する能力、医療を支える他職種の役割の理解と協力の重要性をも学びとる。

以下の診療科をローテートする。

第1内科、整形外科・形成外科、麻酔科、救命救急センター、眼科・脳神経外科、消化器内科、精神神経科・耳鼻咽喉科、第2外科、臨床検査医学・原研内科、産科婦人科、皮膚科・泌尿器科、小児科、循環器内科、心臓血管外科・地域病院、第2内科、放射線科・熱研内科、第1外科、総合病理学・総合診療科・社会医学

### 2. 授業内容（講義・実習項目）

診療科により異なる。臨床実習要項を参照。

### 3. 教科書、参考書等

適宜。

### 4. 成績評価の方法・基準

各科で、出席状況、実習状況等を総合的に評価する。Advanced OSCEの成績は臨床実習の成績の一部となる。なお、期間を通じた到達目標達成度・mini-CEX・ポートフォリオ・チーム医療実習においても評価する。

### 5. 教員名

臨床実習要項を参照。

### 6. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。



## 高次臨床実習

責任者	氏名	上谷 雅孝	内線	7353
	教室	放射線医学	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	5年・後期、6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	27.5単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

### 1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム4週間の実習を3ターム行なう。

第1内科（神経、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病）、第2内科（呼吸器、腎臓）、循環器内科、消化器内科、原研内科、熱研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院、中対馬病院、対馬いずはら病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救命救急センター、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、病理部、臨床検査、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学、市民病院、原爆病院、済生会病院

### 2. 授業内容（講義・実習項目）

各診療科により異なる。臨床実習要項を参照すること。

### 3. 教科書、参考書等

各診療科の臨床実習要項を参照すること。

### 4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

### 5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。

### 6. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

別 添

平成 29 年度  
医学部入学定員増員計画

長大総第 222 号  
平成 28 年 7 月 29 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人長崎大学長  
片 峰 茂



「地域の医師確保等の観点からの平成 29 年度医学部入学定員の増加について（平成 28 年 7 月 21 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	総務部総務企画課長・阿部 勝
	TEL	095-819-2011
	FAX	095-819-2024
	E-mail	soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

1. 現在（平成 28 年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	編入学定員	収容定員
118 名	5 名	723 名

2. 平成 29 年度の増員計画

入学定員	編入学定員	収容定員
120 名	5 名	727 名

(1) 地域の医師確保のための入学定員増 2 名

ア. 対象都道府県名及び増員数

大学が所在する都道府県	長崎県	2 名
-------------	-----	-----

大学所在地以外の都道府県	(都道府県名)	名
--------------	---------	---

(2) 研究医養成のための入学定員増 0 名

ア. 連携する大学

\_\_\_\_\_

(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例 0 名

ア. 歯学部の削減人数 名

(歯学部入学定員：28 年度      名 → 29 年度      名)

\* 編入学定員の削減の場合はその旨付記して下さい。

### 3. 地域の医師確保のための入学定員増について

① 大学が講ずる措置	<p>通知 2 (1)記載の「大学が講ずる措置」に係るこれまでの取組について記入して下さい。</p> <p>「経済財政改革の基本方針 2009」において平成 22 年度から地域枠を 20 名に増員し、そのうち 5 名を地域医療特別枠として長崎県医学修学資金の借入を義務化した。平成 23 年度には、佐賀県枠及び宮崎県枠を創設し、各 2 名の定員を設けた。併せて、同年に「新成長戦略」で 1 名増員した前期日程の定員を、平成 24 年度から地域医療特別枠に振り替えた。また、平成 28 年度から「地域の医師確保等の観点」で 2 名増員し、現在の定員は 8 名である。</p> <p>平成 28 年度地域枠募集定員数</p> <table border="0"> <tr> <td>地域医療枠</td> <td>(推薦入試 A)</td> <td>15 名</td> </tr> <tr> <td>地域医療特別枠</td> <td>(推薦入試 B)</td> <td>8 名</td> </tr> <tr> <td>佐賀県枠</td> <td>(推薦入試 C)</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>宮崎県枠</td> <td>(推薦入試 C)</td> <td>2 名</td> </tr> </table>	地域医療枠	(推薦入試 A)	15 名	地域医療特別枠	(推薦入試 B)	8 名	佐賀県枠	(推薦入試 C)	2 名	宮崎県枠	(推薦入試 C)	2 名
地域医療枠	(推薦入試 A)	15 名											
地域医療特別枠	(推薦入試 B)	8 名											
佐賀県枠	(推薦入試 C)	2 名											
宮崎県枠	(推薦入試 C)	2 名											
	<p>通知 2 (1)記載の「大学が講ずる措置」に係る平成 29 年度以降の取組について具体的に記入して下さい。</p> <p>長崎県から地域医療に従事する医療人育成及びその増員について要望があり、県と協議のうえ地域医療特別枠 2 名の増員を申請することとなった。</p>												
② 地域医療を担う医師の養成に関する取組	<p>上記の他、地域枠の学生が卒後に勤務する都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からこれまでの取組について記入して下さい。</p> <p>I 1 年生～3 年生</p> <p>主に地域枠学生を対象として、平戸市と五島市において 2 泊 3 日の地域医療集中セミナーを開催し、ワークショップ、講義、施設見学などを通して地域包括医療の実際を学ぶ取組を行っている。</p> <p>また、地域枠学生全員を対象として、毎年 10 月にその年の地域医療に関連した活動報告会を実施している。地域枠 1～3 年生については、春に班編制を行い、班ごとに長崎県内の地域医療に関する調査・研究活動を行って、長崎県の地域医療及び医学生のキャリアパス形成について理解を深め、その成果を発表する。</p> <p>地域枠学生と地域医療に興味を持つ学生を対象に、3 カ月に 1 回程度の頻度で県内外の地域医療に従事している医師を招いて地域医療研究会を開催している。</p> <p>1～3 年生全員を対象として、長崎市内の診療所、老人福祉施設、障害者福祉施設、訪問看護ステーションなどで地域包括医療・ケアに関する実習を行っている。</p>												

## II 4年生・5年生

平成28年度入学者よりカリキュラムを変更し、4年生科目として、地域医療学を開講することとした。

4・5年生の臨床実習では、学生全員が地域病院実習、離島医療・保健実習、地域包括ケア実習にそれぞれ1週間ずつ取り組む。

### 1. 地域病院実習

地域病院実習は長崎市とその近郊及び佐世保市の地域中核病院において診療参加型の実習を行い、機能と役割について学ぶ。

### 2. 離島医療・保健実習

離島医療・保健実習は、長崎県離島（対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町、小値賀町）に1週間滞在し、保健・医療・福祉・介護施設において包括的な離島医療の実際を学ぶ。また、医学部医学科生に加え、歯学部生、薬学部生、医学部保健学科生が本実習に参加しており、多職種連携教育の機会となっている。

### 3. 地域包括ケア実習

地域包括ケア実習は長崎市内の地域包括支援センターと訪問看護ステーションにおいて、主に在宅における地域包括ケアについて実践的な実習を行う。

## III 5年生・6年生

5・6年生の希望者を対象として、長崎県離島と本土の地域中核病院、長崎市近郊の在宅医療を専門とする診療所において4週間にわたって地域医療を学ぶ長期間の診療参加型実習を行っている。

## IV 全学年

平成27年度から地域枠学生6年生全員を対象に面談を行い、進路等に関する指導を行ってきたが、平成28年度からは進路指導委員会を設置し、担当教員を定めて組織的・定期的な進路指導を実施する体制を整えた。

上記の観点から平成29年度以降新たに（又は拡充しようとする）取組について記入して下さい。

長崎大学医学部では臨床実習について、平成28年度より、県内離島、長崎市とその近郊に加え、県北地区の佐世保市の4病院での実習を開始したが、学外の臨床教育が卒後の臨床研修に影響を与えることが想定されるため、県内全ての基幹型臨床研修病院を実習施設として、学外臨床教育を拡充するよう検討を進めている。

また、離島実習先として平成27年度より、対馬・上五島・下五島に加え、壱岐を追加したところであり、今後は個々の受入先における実習内容の充実を図る予定である。

	<p>なお、平成 25 年度に採択された未来医療研究人材養成拠点形成事業により地域包括ケア教育センターを開設しており、平成 27 年度より地域包括支援センターと訪問看護ステーション等における地域包括ケア実習を実施しているが、受入先の拡充について検討を行っている。</p> <p>さらに、地域枠学生 1～3 年生全員を対象としたワークショップを開催し、このワークショップに基幹型臨床研修病院の担当者（医師）に参加してもらい、臨床実習前に地域枠学生と臨床研修病院との交流機会を設けるよう計画を進めている。</p>
<p>③都道府県等との連携</p>	<p>通知 2 (2)記載の「都道府県が講ずる措置」について、奨学金の設定主体及び支給額（月額及び卒業までの総支給額）、返還免除の条件、支給対象及び選抜方法、在学中の学生に対する都道府県の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等について具体的に記入して下さい。</p> <p>また、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第 64 号）第 4 条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付してください。</p> <p>長崎県が設定する「医学修学資金」を活用し、地域医療に従事する、明確な意思をもった学生の選抜枠を設定します。</p> <p>I 医学修学資金制度の概要</p> <p>1.貸与額</p> <p>入学料 国立大学標準額の 1.1 倍以内の額(平成 28 年度標準額 282,000 円)  授業料 国立大学標準額の 1.1 倍以内(平成 28 年度標準額 535,800 円)  専門課程(3 年生から 6 年生まで)における学習図書購入費 年額 20 万円以内  生活費 月額 7 万円以内  貸与利率 年 14.5%</p> <p>2.返還免除</p> <p>卒業後、履行すべき義務を修了した場合は、元金及び利息の返還免除</p> <p>3.履行すべき義務</p> <p>初期臨床研修から、貸与期間の 1.5 倍(うち、離島・へき地に 2 分の 1 以上の期間)、長崎県病院企業団等での勤務</p> <p>4.卒業後の身分や研修等</p> <p>身分 長崎県病院企業団等の地方公務員(臨床研修時は非常勤職員)  勤務先 長崎県病院企業団の病院、離島等市町立病院等  研修 臨床研修2年間(国立病院機構長崎医療センター等)  診療派遣(長崎県病院企業団等)  再研修1年間(国立病院機構長崎医療センター等)  再々研修1年間(国立病院機構長崎医療センター、長崎大学病院、各自の出身大学の附属病院、その他知事が指定するところ)</p>

診療科の指定 なし

※長崎県病院企業団：長崎県と島原地区（島原市、南島原市、雲仙市）、五島地区（五島市、新上五島町）、対馬地区（対馬市）、壱岐地区（壱岐市）で構成された地方自治法上の特別地方公共団体（一部事務組合）

## II 選抜方法

将来、地域医療等に従事しようとする明確な意思を持った者を対象とした特別推薦入学試験の中に、長崎県地域枠を設け、総合適性試験と志望理由書による書類審査と小論文・面接により選抜します。

## III 在学中の学生に対する都道府県の相談・指導

毎年度、県の担当者を含めた面接を大学で行い、地域医療へ貢献する意思を確認すると共に、将来的に適切な人材であることを判断します。

在学生に対しては、長崎県では離島医療への意欲向上や認識を深めるため、以下の研修を実施されています。

夏期研修（サマーワークショップ）

離島病院見学

長崎県地域医療研究会への参加等

冬季研修（ウィンターミティング）

## IV 卒後のキャリアパス形成等について

初期臨床研修後の定着勤務の間に、国立病院機構長崎医療センター等での再研修、国立病院機構長崎医療センター、長崎大学病院、各自の出身大学の附属病院等での再々研修が実施されています。

## ④その他

その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組について自由に記入して下さい。

特に、奨学金受給者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、記入してください。

長崎大学医学部では、オープンキャンパスにおいて、地域枠ならではの教育や活動、そしてキャンパスライフなどについて、地域枠学生の視点から受験者及び保護者への説明を行い、数々の入試説明会においても、受験者や高校教諭向けに入試や奨学金制度の説明を行っており、今後も精力的な広報活動を続けていく。

また、入学後については、新入生オリエンテーションのプログラム内に長崎県医療人材対策課による長崎県修学資金に関する説明の時間を設けており、より広く制度の周知に努めていく。

学生の自主活動について、地域枠入学生の同窓会を結成し、講演会等の様々な同窓会活動を通じて、同学年はもちろん、卒前・卒後と学年を超えた地域枠学生同士の連携の強化を行っている。

また、長崎大学と長崎純心大学の学生が連携し、自らが地域包括ケアを支える存在になることを目指し、長崎多職種連携・たまごの会を結成し、前述の同窓会とたまごの会は全国シンポジウム等で発表を行っている。

これら学生の自主活動を併せて、長崎県の地域医療を盛り立てるべく活動していく。

なお、平成28年度に引き続き、長崎県立長崎東高等学校の学生に対して地域包括ケアに関する教育（講義とグループワーク）を定期的を実施する予定である。



#### 4. 研究医養成のための入学定員増について

① 研究医養成に関する実績	<p>通知 1 (2) 及び 3 記載の「研究医養成拠点として相応しい実績」を有していることを説明して下さい。</p> <p>その際、全国平均や全国ランキング等を活用し、他大学と比較して研究医養成拠点として相応しいことが客観的にわかるよう説明して下さい。</p>
② 大学が講ずる措置	<p>通知 2 (1) 記載の「大学が講ずる措置」に係るこれまでの取組について記入して下さい。</p> <p>その際、通知 3 に記載の具体例を踏まえて記入して下さい。</p> <p>通知 2 (1) 記載の「大学が講ずる措置」に係る平成 28 年度以降の取組について具体的に記入して下さい。</p> <p>その際、通知 3 に記載の具体例を踏まえて記入して下さい。</p>
③ 研究医養成に関する取組	<p>上記の他、研究医養成の観点からこれまでの取組について記入して下さい。</p> <p>上記の観点から平成 29 年度以降新たに（又は拡充しようとする）取組について記入して下さい。</p>
④ 過去に当該枠組みにより定員増を実施した場合の現在の状況	<p>（過去に当該枠組みによる入学定員増を実施した場合のみ記入して下さい。）</p> <p>過去に当該枠組みによる入学定員増を実施した際に大学が講ずることとされていた措置の履行状況を記入して下さい。</p>

	<p>(過去に当該枠組みによる入学定員増を実施した場合のみ記入して下さい。)</p> <p>過去に当該枠組みによる入学定員増を実施した際に計画していた取組の進捗状況を記入して下さい。</p> <p>その際、第三者による評価等により、有効性の高い取組であることが確認できている場合には、その旨がわかるように記入して下さい。</p>
<p>⑤ 他の研究医養成拠点との役割分担</p>	<p>(当該枠組みを活用して入学定員増を実施した大学の連携大学となっている場合(今年度以降に連携大学となろうとする場合を含む。))のみ記入して下さい。</p> <p>貴大学が連携大学となっている(今年度に連携大学となろうとする場合を含む。)当該枠組みを活用して入学定員増を実施した大学と貴大学との役割分担を記入して下さい。</p>

## 5. 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例について

① 歯学部 入学定員 削減の具 体的内容	歯学部入学定員の削減に係る入学者選抜、教育研究面などの対応について具体的に記入して下さい。また、当該削減に伴う医学部への教育資源の振り替えがある場合は記入して下さい。
② 大学が 講ずる取 組	医学部入学定員の増員に関して大学が講じようとする取組について記入して下さい。

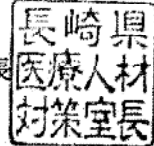
開講学年	科目名	サブタイトル	期間及び授業回数 ※前期4-9月、後期10-3月	場所	教育内容
1年	地域医療ゼミ	地域医療学入門	・金曜日1校時(7コマ程度) ・月一回程度18時~20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必要です。	地域医療学分野セミナー 室(医学部基礎棟5階) ボンベ会館	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。
1年	地域医療ゼミ	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	8月19日(金)~8月21日(日)	地域医療研究会(坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナーinGOTO(長崎県五島市)	坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワークショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。
1年	地域医療ゼミ	離島・へき地医療の達人から学ぶ	前期:15コマ 後期:15コマ	視聴覚室1(医学部基礎棟1階)	離島・へき地の第一線で活躍する多職種による双方向性の講義を中心とする。地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクターとして活躍する医師のほか行政や地域の保健師も講師として招き、「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半では平戸市民病院で夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。
1年	医と社会1	-	前期 36コマ	第2・4講義室 CBT室 学外のリハビリ施設等	医と社会1の一部として、1年生全員を対象として、社会における医療の位置づけと使命を学び、医療のゴールがCureからCareへの継続であることを知る。リハビリ施設等で保健学科との共修によりチーム医療の実験を体験する。
2年	医と社会2	-	後期 26コマ	第1・2講義室 学外の高齢者診療施設等	医と社会2の一部として、2年生全員を対象として、介護福祉に関する基本知識を学び、高齢者福祉施設の実習見学を通じて社会における医療と介護・福祉の役割を知る。
3年	医と社会3	-	通年 19コマ	第4講義室 学外の診療所等	医と社会3の一部として、市内の診療所を少人数で訪問し、地域における医療の役割を知ると同時に医師と他職種の連携についての実際を学ぶ。シミュレーター実習により地域医療の現場で求められる基本的診療技能を習得する。
1~3年	AO・推薦入学者活動報告会	地域枠学生ワークショップ	10月22日(土)	第3講義室	地域枠学生1~3年生全員を対象として、長崎県や臨床研修病院の担当者を変えて地域医療に関連するテーマでワークショップを行い、県内地域医療の理解を深めるとともに、地域医療関係者との交流を図る。
4年	医と社会4	-	通年 5コマ	第1~4講義室 視聴覚セミナー室 セミナー室	医と社会4の一部として、4年生全員を対象として、在宅医療や地域包括ケア実習の準備授業に位置づけて、医歯薬の共修や専門職を交えた事例検討を行い、専門的視野に偏らない問題解決の思考を養う。
4年	公衆衛生学	-	前期 9コマ	第3・4講義室	公衆衛生学の一部として、4年生全員を対象として、社会医学における保健・医療・福祉・予防医学・健康増進・高齢者保健の講義を行い、関連法を含めて地域における保健医療等の制度と基本について教授する。
4・5年	臨床実習	地域病院実習	4年生の1月~5年生の12月のうち5日間	長崎市内と近郊の地域中核病院	臨床実習の一部として、4・5年生全員を対象として、長崎市とその近郊及び佐世保市の地域中核病院で5日間の実践的な地域病院実習を行う。地域病院それぞれの特性を活かした実習プログラムを整備し、地域病院の機能を体験しながら理解させることで、地域病院が地域の中で担っている役割と地域との関わりについて学ぶ。
4・5年	臨床実習	離島医療・保健実習	4年生の1月~5年生の12月のうち5日間	右記各コース(離島)の各医療・保健施設	臨床実習の一部として、4・5年生全員を対象として、上五島コース、下五島コース、対馬コース、杵嶋コースに分かれて、5日間(月~金)の離島医療・地域保健実習を行う。医学部医学科、歯学部、薬学部、医学部保健学科との専門職連携教育によってチーム医療教育と地域包括医療・ケアについて学ぶ。
4・5年	臨床実習	地域包括ケア実習	4年生の1月~5年生の12月のうち5日間	地域包括支援センター、訪問看護ステーション	臨床実習の一部として、4・5年生全員を対象として、地域包括支援センターと訪問看護ステーションにおいて、5日間の地域包括ケアに関する実習を行う。
6年	高次臨床実習	-	5年生の1月~6年生の7月のうち4週間	各離島と本土の地域中核病院	高次臨床実習の一部として、離島や本土の地域中核病院の希望者は内科系・外科系のコースに分かれ、実習を行う。また、在宅医療実習の希望者は長崎近郊の在宅医療を専門とする診療所にて実習を行う。

28医人第240号

平成28年7月27日

厚生労働省医政局長 様

長崎県医療人材対策室長



地域の医師確保のための入学定員増に係る約束文書

平成28年7月21日付け28文科高第406号に基づき、下記のとおり、平成29年度から長崎大学医学部及び川崎医科大学医学部において地域の医師確保のため入学定員増を行うこととしました。

今後、長崎県地域医療総合確保基金事業計画等の変更を行うなど必要な手続きを行います。

記

1 提携大学及び今回増員数

長崎大学	2名
川崎医科大学	1名
計	3名

2 これまでに修学資金を条件として設定している長崎県地域枠

長崎大学	8名
佐賀大学	1名
川崎医科大学	5名
計	14名

担当：長崎県医療人材対策室 医師確保推進班

電話：095-895-2421

FAX：095-895-2573

E-mail：s04045@pref.nagasaki.lg.jp